



瀬田東文化振興会

メンバー募集圏

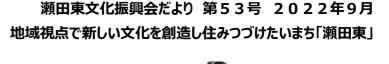
瀬田東文化振興会では、幼少年 期に様々な体験活動を通じて、 しっかりとした学びの芽を作り 育てることを目的とし、東学区 の保、幼、小、小Pと協力し活 動をしています。私たちと一緒 に活動しませんか? 公民館までご連絡ください♪

瀬田東文化振興会 HPOR コード 文化振興会の様々な活動を 紹介していますので、 ぜひご確認ください。



瀬田東文化振興会だより(53号) 発行日 2022年9月1日 編集人 広報部 岩原 勇気 発行所 瀬田東文化振興会 大津市一里山三丁目 16-1 大津市瀬田東公民館内 077-545-9001 発行責任者 竹内 稔











「たかがホタルと共に」

■ 田上郷土資料館館長 東郷 正文

私とホタルとの出会いは、守山市内の 中学校に勤務していた平成初期の頃だ ったと思います。

守山市は、その十年ほど前から「ホタ ルの飛び交うまち守山となるような河川 環境と「ホタルのまち守山」としての活性 化をはかるために、人工河川の設置や、 ホタルの飼育のための研究室が設けられ て、いろいろな試験が始まっていました。

事業が軌道にのりだすと、学校にもク ラブ活動としてホタルの飼育の依頼があ りました。校内では、依頼を受けて設置 場所や顧問の問題等で先行不安。私 が言った「我が田舎にはホタルなんかいっ ぱい飛んでるで」一言で、ホタル飼育の 手伝いに至りました。

その頃、偶然にも地域の古老から幼 少期の「守山のホタル」の聞きとりの場を 得て、ホタルの生息のすごさ、その利用 のすごさに感服いたしました。

明治から昭和にかけて、守山小学 校の児童と先生で皇室にホタルを献上 していたこと。大正十年頃の「ホタル祭 り」は、守山小学校の校庭にホタルを 一万匹放ち、観光客らに自由に捕獲 させていたこと。また昭和のはじめ頃に は、ホタルの問屋が四軒ほどあり、百万 匹以上を扱い、京阪神を中心に、北 海道、朝鮮、満州からも注文があった ことなどを知りました。その守山のホタル が、昭和三十年頃には、産業廃水、 農業廃水、農薬等による水質汚濁に より、ホタルとカワニナが絶滅し、昭和 三十五年には「天然記念物指定」から 解除になりました。

このような動きの現実を知ると、自然 環境の大切さをクラブ活動をとおして、 養えたらと思うようになりました。しかし、 ホタルの生態や、人工飼育についての 知識はゼロ。鳩の森公園にある研究 室に通い、ホタルの生育とわがままさを 知ることになりました。

六月になると、ホタルは我が家付近 で捕獲。ふ化は学校で、カワニナと井

戸水は毎日のように持参しました。他の 小中学校には配達もしました。一部幼 虫は十一月ごろまで水槽で飼育、他は 夏休み前に指定された河川に放流。こ れを毎年繰り返したことを思い出しま

学校を辞して二十余年。今もホタル と縁が切れずにいます。あの乱舞してい たわが里のホタルも、平成六年から始ま った圃場整備事業により、ホタルの住め ない里になりました。すべての河川はコン クリートの三面張り。やっと山裾の一角と 木々に囲まれた小学校の水路を大切に 守っています。幸いなことに、カワニナが 辛抱強く生息し、貴重な飼料を提供し てくれたことに感謝しております。

また、今年の「ホタルの鑑賞会」も多く の参加者を得て無事終えることができま した。地域の皆さんの協力のおかげで す。

最近では、瀬田東学区の長沢川を はじめ、数か所のホタルの幼虫放流の 依頼を受け準備していますが、近年に なって全国的異常気象による増水が、 ホタルの里づくりに大きな障害となってき ました。台風シーズンが過ぎるまで、最 小限の被害で済むように祈っています。

ホタルは美しい水、澄んだ空気、きれ いな土のあるところのみに生息する生き 物です。「ホタルの飛び交う町」は、自然 環境の優れた町と言えます。

全国で減少していくホタルですが、各 地域活性化の原動力にホタルが飛び出 すのを期待しています。

東つ子事業

「子ども体験学習に 寄せる思い」 瀬田東文化振興会 会長 竹内 稔

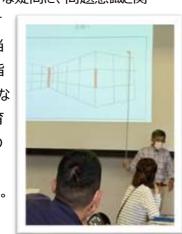
文化振興会では、次代を担う子ど もたちの成長を支え、親子のふれあ い・友達との絆を深めるための体験 学習を行っています。

今年度最初の取り組みとして、「不 思議な絵の世界」をテーマに、描か れた図形が実際とは違って知覚され る錯視について学習しました。不思 議な現象に一様に興味深く熱心に 聞き入っていただきました。錯視が脳 の什組みから起こることは知られてい ますが、現象のメカニズムについては 解明されていません。

第二弾では、身近な環境問題に 関心を持つ契機とすべく、「ホタルが 飛び交う長沢川の復活」をテーマに 取り組み、その一環として川の環境 保全に、不法投棄されたごみの回収 を行い、次の年ホタルが回帰すること に願いを託し、参加者全員が長沢 川にホタルの幼虫を放流しました。

これらの学習から、日常生活の中 での様々な疑問に、問題意識と関

心を示す ことで、当 会が目指 す、豊かな 感性を育 むことにつ ながれば 幸いです。



瀬田東幼稚園





一里山ひかりこども園

玉ねぎの収穫



学園前こども園





山の神遺跡での読み聞かせ

瀬田東の幼稚園や

田植え 子ども園との取り組み 瀬田東文化振興会 松田 文男

私の子供の頃の思い出は、自然と遊ぶ ことが全てでした。良くも悪くもそれしかなか った時代で、そこからいろいろなことを学び 取りました。例えば、夏休みには朝ラジオ 体操が神社で始まる前に、友達より早く 起きて近所の鎮守の森でカブト虫やクワガ タを採って自慢げに友達にその時の木の 状態や蜂の様子など、詳しく話を聞かせ

また、ガキ大将に連れられて、近くの池 で筏づくりを教えてもらい遊ぶ。その時に池 の怖さを教わる。冬には、学校から帰ると すぐに友達と喧嘩駒をして遊ぶ、その時ど うしたら勝てるのかを子供なりに考えて、何 度も何度も試作をして勝つまで挑戦を続 けました。

ただ、何もなかった時代で親もかまってくれ ませんでしたが、寝るときには母親が添い 寝をしてくれて、必ず絵本を読んでくれたこ とを思い出します。

つたない体験ですが、体験を積み重ね るごとに、知らず知らずに「ものの見方や考 え方」が身につき好奇心旺盛になり、興味 がわき、アイデアも豊富になってくる。それが 今も役立っていると自負しています。

今の子供たちは昔のように自然から学 ぶことが少なくなってきています。

今では難しい自然から学ぶ体験を少しで も地域の宝である子供たちにしてほしいと いう思いで幼稚園や子ども園と協力し、身 近の素材で作る紙飛行機凧、笹船づく り、東学区の森の公園の散策と自然の中 での絵本の読み聞かせや芋苗植えと収 穫、田植えと稲刈り等を行っています。こ の体験が子供たちに楽しかった思い出とと もに何かの学びになってくれることを信じて これからも続けていけたいと思っています。



長沢川探索とホタルの幼虫放流



